

原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：令和5年11月10日（金）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：吉野長官官房総務課長

<本日の報告事項>

○司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから11月10日の原子力規制庁定例ブリーフィングを始めます。

○吉野総務課長 報道官の吉野です。

原子力規制委員会の広報日程について御説明します。

まず、11月14日火曜日ですが、第43回原子力規制委員会臨時会議が開催されます。

議題1は、原子力施設の核物質防護に係る審査基準等の改正案及び事業者への意見聴取です。

これは、事業者を求める核物質防護措置について、事業者との意見会合を4回開催して、課題の洗い出しや改善策の検討を行った結果、今年7月19日の臨時会で改善の方向性について委員会にお諮りしております。ここで具体の改善の方向について了承いただいたので、それを踏まえまして核物質防護に係る審査基準の改正案を作成したというものでございます。これについては、事業者への意見聴取を行った後、改正を行いたいということで、その内容についてお諮りするものでございます。

この審査基準の改正案では、防護区域への出入り管理、それから、核物質防護規定の審査の合理化について、審査基準の見直しを御提案するという内容となっております。

議題の2は、東京電力ホールディングス株式会社柏崎刈羽原子力発電所に対する追加検査の状況です。

柏崎刈羽原子力発電所の追加検査については、今年の9月20日にフェーズⅢの確認内容を、詳細にどういった項目を見ていくかということについて委員会です承をいただいております。それに沿って検査を進めてまいりました。これまで、大きな4つの項目のうち3つについては事業者から完了報告が提出されている状況でございます。14日の委員会では、こうした状況、また、検査の状況について御報告いたしまして御議論をいただくという予定となっております。どちらの議題も核物質防護及び検査に関する情報にかかりますので、非公開となっております。

翌11月15日ですが、第44回原子力規制委員会定例会が予定されております。

これについては議題調整中ですので、14日火曜日に内容の説明を行います。

同日、45回原子力規制委員会の臨時会も開催されます。

これは、北海道電力の経営者層と委員との意見交換を行うものでございます。

北海道電力については、今年6月に経営層の交代がありました。齋藤晋が代表取締役社長執行役員、勝海和彦氏が取締役常務執行役員原子力事業統括部長にそれぞれ御就任なさっております。今回の意見交換は、この交代を受けて行うものでございます。

次に、11月14日火曜日の3番目の案件です。審査会合、会見のほうに移ります。

第505回核燃料施設等の新規制基準適合性に係る審査会合が開催されます。対応は杉山委員です。

議題は、JAEA（日本原子力研究開発法人）の原子力科学研究所の放射性廃棄物の廃棄施設に係る設計及び工事の計画の認可申請についてです。

これは、廃棄施設14施設について設工認の申請がなされているものでございます。施設数が多かったり内容も多岐にわたりますので、申請は9回に分割されて行われてきております。現在、最後の9分割目の申請について、今回が3回目の審査となります。この申請については3月24日に受け付けておりまして、これまで5月30日、それから、7月4日に審査を行ってきております。そこで規制庁から幾つかコメントをしておりますので、それについて回答を事業者から聞くというものでございます。

11月16日木曜日、第1203回原子力発電所の新規制基準適合性に係る審査会合がございます。対応は杉山委員です。

議題1は、株式会社グローバル・ニュークリア・フュエル・ジャパン燃料体の設計の型式証明の審査です。

この審査については、前回4月20日に審査を行っておりますが、しばらく審査を行っていないことから、会社から状況を聴取するというものでございます。

議題の2は、関西電力株式会社高浜発電所1号炉、2号炉、3号炉及び4号炉の設置変更許可申請（3号炉及び4号炉の蒸気発生器の取替え等）の審査についてです。

これについては、前回10月10日に審査会合を行っておりまして、引き続き説明を事業者から聞くというものとなっております。

11月17日金曜日には、第1204回原子力発電所の新規制基準適合性に係る審査会合がございます。対応は石渡委員です。

議題の1は、電源開発株式会社大間原子力発電所の津波の評価についてです。

ここでは、大間原発の基準津波の設定に必要な津波の組合せの審査を行います。斜面崩壊と地震以外の理由による津波について引き続き審査が行われます。これまで規制庁のほうから指摘した事項について回答が予定されております。

議題の2は、北海道電力株式会社泊発電所3号炉の地震動の評価です。

泊3号炉については、6月に地震動の大まかな審査が終わっております。今回、設定した地震動を超える地震が起こる可能性について、年超過確率の設定についての説明を受けることを予定しております。

最後にお知らせですが、本日11月10日の午前中に、原子力規制庁長官官房会計部門に所属する20代の職員を窃盗の容疑で逮捕したという連絡を警視庁南千住警察署から受

けております。詳細は承知しておりませんが、職員が逮捕されたということで誠に遺憾でございます。今後、事実関係を確認した上で厳正に対処したいと考えております。

以上です。

<質疑応答>

○司会 皆様からの質問をお受けします。いつものとおり所属とお名前をおっしゃってから質問をお願いいたします。御質問のある方は手を挙げてください。

よろしいでしょうか。

それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。ありがとうございました。

—了—